

平成 24 年度 年次報告書



明石市

Akashi

2013

Environmental Report

環境レポート

はじめに

わたしたちの暮らすまち明石は、明石海峡、淡路島を望む風光明媚な海岸線、ため池群や田園地帯など、多様な生物を育む多くの自然に恵まれたまちであります。

また、万葉の時代から歌人に謳われているように、豊かな歴史と文化のあるまちとして人々から親しまれています。

この恵まれた環境を守り、自然、文化、人々の暮らしが融合した「未来安心都市・明石」を築くため、「第2次明石市環境基本計画」を策定し、「ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン」、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」、「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」の個別計画を推進しています。

環境をとりまく情勢は年々変化し、計画の推進にあたっては新たな施策を含め、将来を見据えた内容を検討していかなければなりません。そして、これらの施策をより実効性の高いものとするためには、市民や事業者のみなさまとの協働の取り組みが必要となります。

自然と文化に恵まれた明石の魅力を、次世代の子どもたちに引き継いでいくため、本市の行っている環境施策について、広く市民のみなさまにご理解をいただき、「低炭素」・「自然共生」・「循環型」の3つの社会の実現を目指してまいりたいと考えています。

このレポートでは、平成24年度における本市の環境への取り組み状況を紹介しています。環境の問題をより身近に感じ、また、環境意識を高め、活動への一步を踏み出すきっかけとなればと思っております。市民のみなさまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



明石市長

泉 房 徳

も く じ

この報告書には、明石市の環境に関する情報について、平成 24 年度の報告を中心に掲載しています。対象は、明石市（行政委員会の事務局を含む）の環境施策と事務事業です。

- 1 明石市のめざす環境像を実現するために P.2
第2次明石市環境基本計画について
- 2 平成24年度の主な取り組み P.3
活動トピックス
- 3 低炭素社会の実現に向けた取り組み P.4~5
ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン
- 4 自然共生社会の実現に向けた取り組み P.6~7
つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略
- 5 循環型社会の実現に向けた取り組み P.8~11
みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン
- 6 安全・安心社会の実現に向けた取り組み P.12
- 7 環境美化への取り組み P.13~14
- 8 エコウイングあかしの取り組み P.15~21
エコウイングあかし（明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会）
エコウイングあかし・平成24年度の取り組み ほか
- 9 明石市環境マネジメントシステムの取り組み P.22~26
環境目的・環境目標の取り組み ほか
- 10 平成24（2012）年度の事業評価表 P.27~29
環境貢献（施策編）環境基本計画に定める取り組み（P.27~28）
環境貢献（エコ活動編）の取り組み（P.29）
- 11 主な関連資料 P.30~31
主な関連資料一覧・入手方法について

1 明石市のめざす環境像を実現するために

第2次明石市環境基本計画について

明石市では、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例に基づき、「明石市環境基本計画」を策定しています。

この計画では、環境全般に関わる取り組みの基本となる考え方、めざす環境像、取り組み内容を示すとともに、市民、事業者、行政それぞれの役割を明らかにしています。

平成23年度に策定した第2次明石市環境基本計画では、地球温暖化対策、自然環境の保全、一般廃棄物処理の3つの計画を施策推進のための個別計画とし、本計画を上位計画として位置づけています。

明石市のめざす環境像

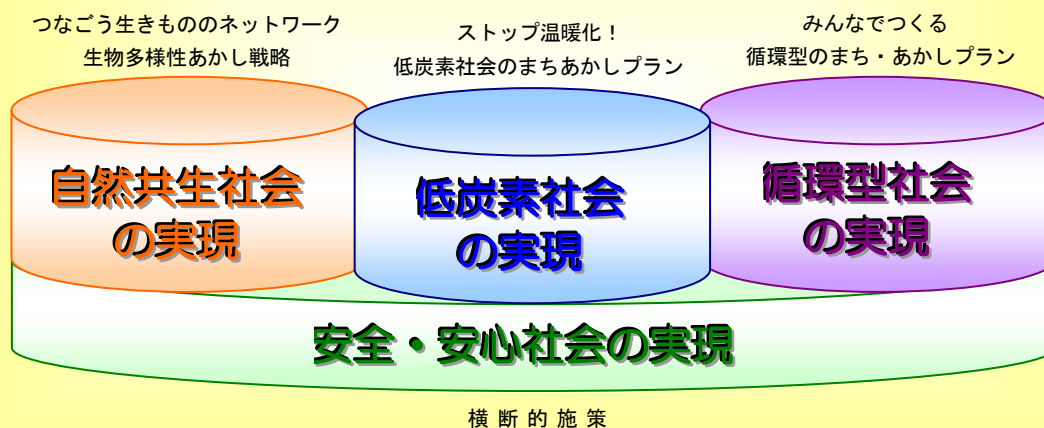
水辺や里山そしてまちは光に映え、人々がにこやかに集う
人と人との思いやり、地球をいつくしむ古(いにしえ)に想いをはせ、
未来への希望が輝き続けるまち

～恵まれた環境と文化をともに守り育て、将来につなぐまち・あかし～

第2次明石市環境基本計画

基本方針

明石市のめざす環境像を実現するため、4つの基本方針を掲げています



明石市のめざす環境像を実現するための推進体制

明石市の「めざす環境像」を実現するために、市民、事業者、行政の各主体での取り組み、協働の取り組み、そして推進する体制が必要です。

第2次明石市環境基本計画では、行政だけでなく、市民、事業者との協働＝パートナーシップで計画を進めることを基本としています。

2 平成24年度の主な取り組み

活動トピックス

再生可能エネルギー利用の促進

～大規模太陽光発電設備（メガソーラー）の設置～

再生可能エネルギーの利用を促進するため、明石クリーンセンター敷地内にメガソーラーを設置します。

第1期事業はエナジーバンクジャパン株式会社と共同事業の契約を、第2期事業は株式会社きしろを代表とする共同事業体へ土地を貸し出す契約を、平成25年1月31日に締結しました。

5 ページに記載



メガソーラー完成予想図

家庭で取り組める地球温暖化対策

～グリーンカーテンの普及啓発～

グリーンカーテンの普及を図るため、「グリーンカーテン園芸講習会」を計5回実施しました。夏の節電につながるということもあり、市民の関心も高く、約400名の方が受講されました。



グリーンカーテン園芸講習会

また、家庭や職場などで育てたグリーンカーテンを対象に、「あかしグリーンカーテンコンクール2012」を開催しました。



個人の部 最優秀賞

5 ページに記載

廃棄物の不法投棄対策に関する協定

～不法投棄パトロール隊始動～

郵便事業株式会社明石支店・明石西支店（現日本郵便株式会社明石郵便局・明石西郵便局）と明石市は、良好な生活環境を維持保全することで、美しいまちを、未来の子どもたちに残すため、「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を平成24年5月9日(水)に締結しました。



不法投棄対策協定締結式

11 ページに記載

未来の子どもたちへ ごみの発生抑制への取り組み

～『レジ袋の無料配布の取りやめ』をスタート～

市内飲食料品事業者（16事業者）、明石市消費者協会と、レジ袋削減に関する協定を締結し、平成24年4月1日より、レジ袋の無料配布の取りやめを開始しました。

【平成24年度実績】

- ・レジ袋削減枚数 … 約 3,200 万枚
- ・CO₂削減効果 … 約 2,000 トン
- ・原油の節約量 … ドラム缶約 2,900 本の原油を節約



消費者協会等によるPRキャンペーン

3 低炭素社会の実現に向けた取り組み

ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン

明石市では、地球温暖化対策を推進するため「ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン」を平成 23 年 3 月に策定しました。

この計画では、市役所の事務事業だけでなく、市民・事業者の活動から排出される温室効果ガスを削減するための具体的な施策を定めています。良好な環境を将来の子どもたちに引き継ぐには、行政だけでなく市民と事業者が協力して、温室効果ガスの排出が少ないライフスタイルへと転換することが必要です。

明石市内の温室効果ガス排出量の推計

温室効果ガスの実績値と目標値は以下のとおりです。平成 22 年度に明石市内から発生した温室効果ガスの排出量は、二酸化炭素に換算すると 1,634,965t-CO₂ となり、計画の基準年度である平成 2 年度と比較すると 15.8%の減少となりました。

(※実績値については、温室効果ガスの算出基礎となる各種統計データの集約が可能な平成 22 年度が最新となっています。)

◆平成 2 年（1990 年）度を 100 とした場合の部門ごとの指数

区 分	実績値			対策を行わない場合の将来推計		
	平成 2 年度 (1990 年度)	平成 21 年度 (2009 年度)	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 24 年度 (2012 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 62 年度 (2050 年度)
一酸化二酸化炭素、メタン、	産業部門	100	66	73	86	93
	運輸部門	100	77	69	71	72
	民生部門(家庭系)	100	124	134	146	150
	民生部門(業務系)	100	95	95	140	153
	工業プロセス	100	22	26	26	27
	農業	100	51	45	25	25
	廃棄物	100	213	221	237	233
代替フロン等	100	66	72	69	174	174

◆明石市内の温室効果ガス排出量の現状（平成 22 年度まで）と目標値

区 分	実績値			目標値		
	平成 2 年度 (1990 年度)	平成 21 年度 (2009 年度)	平成 22 年度 (2010 年度)	平成 24 年度 (2012 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 62 年度 (2050 年度)
温室効果ガス (t-CO ₂ /年)	1,940,845	1,586,972	1,634,965	1,601,197	1,455,634	388,169
1990 年度を 100 とした場合の指数	100	81.8	84.2	82.5	75.0	20.0

再生可能エネルギーの利用促進

再生可能エネルギーの利用を促進するため、明石クリーンセンター内に大規模太陽光発電設備（メガソーラー）を設置します。第1期事業は、大阪ガス株式会社の子会社エナジーバンクジャパン株式会社と共同事業を行う契約を、第2期事業は株式会社きしろを代表とする共同事業体へ土地を貸し出す契約を、平成25年1月31日に締結しました。

第1期事業は、敷地面積22,000m²、設備容量1,705kWの設備を設置し、標準的な家庭約500世帯が使用する年間電気使用量を発電する予定です。第2期事業は、敷地面積17,929m²、設備容量1,008kWの設備を設置し、標準的な家庭約300世帯が使用する年間電気使用量を発電する予定です。

地球温暖化対策の啓発活動

●明石市住宅用太陽光発電設備設置補助金

平成22年度より、住宅用太陽光発電設備の普及を図るため、個人が住宅に太陽光発電設備を設置する場合に、その経費の一部の補助を始めました。

これまで、累計528件：2007.4kWの太陽光発電設備に補助を行いました。

（平成22年度：174件、647.39kW 平成23年度：174件、669.54kW 平成24年度：180件、690.47kW）

●グリーンカーテンの普及啓発

家庭で取り組める地球温暖化対策への関心を高めるため、「グリーンカーテン園芸講習会」を開催しました。夏の節電につながることから市民の関心も高く、約400名の方が受講しました。受講者にはグリーンカーテンセットを配布し、グリーンカーテンの育成に取り組んでいただきました。

また、家庭や職場などで育てたグリーンカーテンを対象に、「あかしグリーンカーテンコンクール2012」を開催しました。



グリーンカーテン園芸講習会



団体の部 最優秀賞

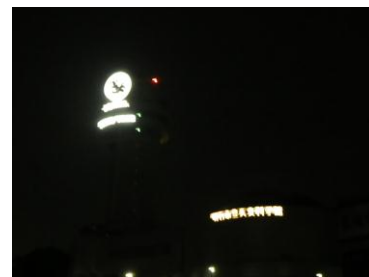


コンクール表彰式

●あかしたなばた☆ライトダウン

6月21日（夏至の日）から7月7日（七夕）まで、全国的な節電行動としてライトアップ施設や家庭の電気を消灯する「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」が実施されました。

明石市でも、6月21日、7月7日の午後8時から10時までの2時間、明石市生涯学習センターと明石市立天文科学館が参加しました。



天文科学館のライトダウン

課題と今後の方向性

低炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの主成分であるCO₂の排出量をさらに削減するなど、より一層の取り組みの推進と啓発活動が必要になります。

また、再生可能エネルギーの活用については、日照時間が長いといった明石市の恵まれた地理的特性を生かした事業展開を検討していきます。

4 自然共生社会の実現に向けた取り組み

つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略

明石市では生物多様性基本法に基づき、生物の多様性の保全及び生物多様性の恵みを将来まで持続して利用できるようにするため、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」を平成23年3月に策定しました。

明石市は、水辺豊かな地域となっており、水でつながる代表的な自然環境として、里山林・ため池・河川・海岸があります。これらの自然環境を守り、「自然と人が共生するまち“あかし”」を未来の子どもたちに引き継いでいかななくてはなりません。そのためには、行政だけでなく、市民、事業者、市民団体など多くの主体が協働し、戦略を推進する必要があります。



(将来のイメージ図：出典「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」)

ため池の保全

ため池は、農業用水を確保するために作られた人工池ですが、防災機能（洪水調整）や親水空間、さらに環境学習の場など、様々な機能を持っています。

また、市内のため池には、希少な水生植物も多く自生しており、水面に巨大な葉を広げるオニバス（スイレン科）は、西日本有数の群生地として知られています。

一方、ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）やブラックバス、ブルーギルなど、多くの外来生物が繁殖している現状もあります。これらの外来生物をこれ以上増やさないために、対策を計画的に推進していく必要があります。



皿池のオニバス
(大久保町江井島)



河川の保全

明石市には、比較的大きな河川として、朝霧川、明石川、谷八木川、赤根川と瀬戸川があり、ため池と同様に様々な機能を持っています。これらの河川を利用し、富栄養化したため池の水を海へと流し、海苔の色落ち対策に役立てようとする取り組みも行われるなど、重要な役割を担っています。

また、ため池と同様に、外来生物に対する問題を抱えているのも現状です。ため池、河川という流域的に対策を講じていく必要があります。



谷八木川

ミシシippアカミミガメ生息域実態調査の実施

平成24年6月～12月にかけて市内のため池5箇所において、水生動植物などの生態系に悪影響を及ぼす要注意外来生物「ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）」の生息域実態調査を実施しました。数回にわたり網によるミシシippアカミミガメの捕獲を行った結果、カメ捕獲数に占めるミシシippアカミミガメの割合を大幅に減らすことが出来ました。

調査池	生息割合	
	調査開始時	調査終了時
喧嘩池（大久保町西脇）	100%	25%
北浦池（魚住町金ヶ崎）	70%	0%
皿池（二見町福里）	100%	0%
上池（大久保町西島）	95%	54%
湯ノ池（二見町東二見）	77%	50%

【ミシシippアカミミガメ総捕獲数=744匹】



ミシシippアカミミガメ
(ミドリガメ)



明石川および市内ため池群生物生態系調査の実施

明石市では、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」推進の基礎資料とするため、市内の自然環境を継続的に調査しています。平成24年度は、明石川および市内ため池群の生物・生態系調査を実施しました。明石川河川敷には『アレチウリ』や『オオキンケイギク』、ため池には『ブルーギル』や『ブラックバス』等の「特定外来生物」の存在が確認されており、数少ない貴重種や在来生物等の生態系に悪影響を及ぼす恐れがあります。

調査場所	調査項目	確認種数	内、貴重種数	内、指定外来生物種数
明石川	水生昆虫	8種	0種	0種
	植物	139種	3種	19種
上池 (松陰新田)	植物	83種	4種	7種
	鳥類	33種	5種	0種
	魚類	2種	0種	2種
	水生昆虫	7種	0種	0種
請池 (谷八木)	植物	25種	0種	4種
	鳥類	24種	4種	0種
	魚類	2種	0種	1種
	水生昆虫	6種	0種	0種
納戸池 (西島)	植物	105種	1種	15種
	鳥類	28種	5種	0種
	魚類	2種	0種	1種
	水生昆虫	10種	0種	0種



明石川（河口）



上池（松陰新田）

課題と今後の方向性

より一層の取り組みの推進には、多くの主体の協働が必要となるため、さらなる協働体制の構築に向け整備を進めていきます。また、引き続き自然に関する調査を行うとともに外来生物対策をはじめとした、自然環境保全に向けた取り組みや啓発を行っていきます。

5 循環型社会の実現に向けた取り組み

みんなで作る循環型のまち・あかしプラン

明石市では、循環型社会の実現を図るため「みんなで作る循環型のまち・あかしプラン（明石市一般廃棄物処理基本計画）」を平成24年3月に策定しました。

この計画に基づいて、3R（リデュース〔発生抑制〕、リユース〔再使用〕、リサイクル〔再生利用〕）を中心とする減量・資源化の推進に向けた、環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかしを目指していきます。

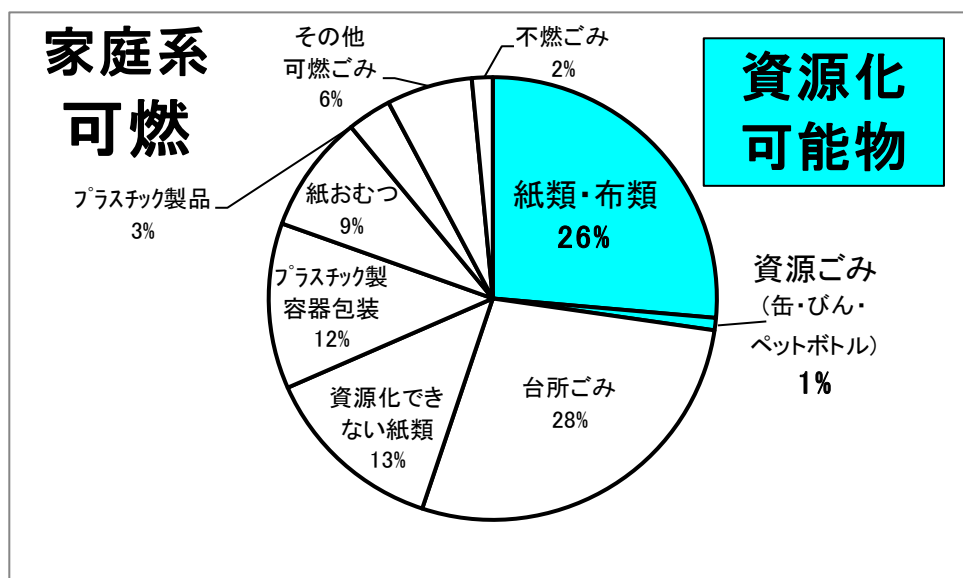
数値目標の達成状況

平成24年度の数値目標の達成状況は以下の表のとおりであり、『家庭系燃やせるごみの1人1日あたり排出量』と『リサイクル率』の達成には課題があります。

項 目		平成22年度 (基準年度)	平成24年度 (実績)	平成32年度 (目標年度)
「目標1」 ごみ処理量の削減	市ごみ処理量	101,161 t	97,327 t	84,000 t
	家庭系燃やせるごみの 1人1日あたり排出量	525g/人・日	525g/人・日	440g/人・日
	事業系市ごみ量	37,438 t	34,063 t	33,000 t
「目標2」最終処分量の削減		16,580 t	15,873 t	13,600 t
「目標3」リサイクル率の向上		13.7%	13.0%	15.7%

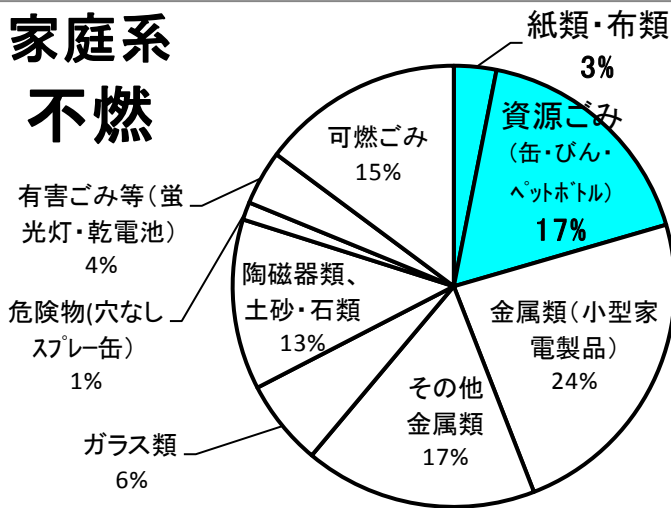
ごみの組成分析結果

ごみの性状を把握するため、家庭系と事業系の燃やせるごみ（可燃）及び家庭系燃やせないごみ（不燃）それぞれの組成分析（湿量ベース）を行った結果を示します。その結果、すべてのごみにおいて、資源化できる紙類・布類や資源ごみが約2～3割程度含まれているため、より一層の分別の徹底を図っていく必要があります。



平成24(2012)年度 家庭系可燃ごみの組成 (重量比)

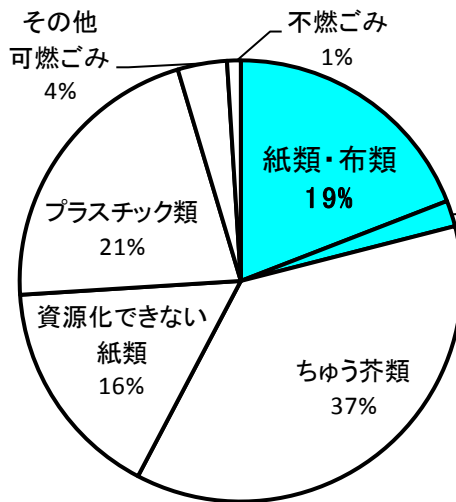
家庭系 不燃



資源化
可能物

平成 24 (2012) 年度 家庭系不燃ごみの組成 (重量比)

事業系 可燃



資源化
可能物

平成 24 (2012) 年度 事業系可燃ごみの組成 (重量比)

口雑がみ啓発キャンペーン

雑がみは大切な資源です

ごみの減量と資源の有効活用を図るため、「雑がみ」のリサイクルにご協力ください。



「雑がみ」とは、新聞紙・雑誌・段ボール・紙バック以外で、不要となったリサイクルできる紙全般のことです。

出し方 雑誌と一緒にしぼるか、紙袋に入れてしぼってください。

出す日 お住まいの地域の集団回収の日に出してください。
又は、紙類・布類の日に出してください。

第1土曜日(明石川東地域)、第2土曜日(明石川西地域)、第3土曜日(大久保地域)、第4土曜日(魚住・二見地域)

平成 24 年度の取り組み状況

1 ごみの発生抑制を最優先、次に再使用・再生利用

●生ごみ減量化への取り組みの推進

家庭ごみの減量化を図るため、家庭で気軽に取り組める「段ボールコンポスト」の普及や「生ごみの水切り」の啓発など、実践ガイドブックを作成し“生ごみ減量化大作戦”を実施しました。

平成 24 年度は、段ボールコンポスト基材を 767 個、水切り基材を 250 個配布し、段ボールコンポスト講習会を 3 回開催しました。



段ボールコンポスト講習会

●不用品の再使用の推進

明石クリーンセンター内に「リサイクル家具常設展示場」を開設し、粗大ごみとして収集した家具等を修理・再生し販売することで、不用品の再使用の実践活動を進めています。

平成 24 年度の年間来場者は延べ 1,416 人で、申し込み者には抽選の上、有償にてリサイクル家具 107 点を提供しました。

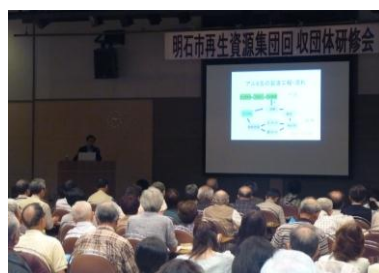


リサイクル家具常設展示場

●集団回収活動の拡充と活動団体の育成

集団回収については、地域のリーダーの育成や支援体制の充実のほか、市から積極的に活動未実施地域に対し団体登録を働きかけることで、地域での取り組みの活性化を促し、集団回収活動の拡充を目指しています。

平成 24 年度は、合計 8,388 t の回収実績がありました。



再生資源集団回収団体研修会

●拠点回収の拡大（廃食用油、小型家電）

廃食用油の回収については、現状の拠点回収方式が市民に浸透してきており、今後も拠点回収を充実していきます。平成 24 年度については、市役所、市民センターや自治会館など計 28 カ所の拠点で、廃食用油を 9,8610 回収し、市のごみ収集車等の燃料として使用しました。

小型家電の回収では、平成 24 年 11 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日の 4 ヶ月間で、「小型家電リサイクル法」施行前の事前調査回収を実施しました。8,454 kg の小型家電を回収し、希少有用金属のリサイクルを行いました。



拠点回収の回収風景

2 パートナーシップによる取り組みを強化

●ごみ減量推進員等の活動支援

ごみ減量推進員・協力員は、市民のごみ減量に対する意識の高揚を図るため、地域のリーダー・サブリーダーとして活動していただいています。

平成 24 年度は、ごみ減量推進員会議、ごみ減量推進協力員研修会などを実施し、校区連合間の交流会等を開催して意見を出し合い、情報の共有化を図っています。また、平成 24 年 12 月 3 日には、ごみ減量ネットワーク主催の「廃棄物減量等推進員 関西交流大会」に、ごみ減量推進員が多数参加しました。



廃棄物減量等推進員 関西交流大会

●環境学習の推進

環境出前講座やあかし環境&消費者フェア、クリーンセンター施設見学など、さまざまな環境学習の機会を提供しています。

平成24年度については、環境&消費者フェアの開催、明石クリーンセンター施設見学に約3,000人の来場がありました。

また、子どもから家庭、家庭から地域へと、ごみ分別意識の向上を図るため、小学校や自治会などを対象とした出前講座として、「学校へ行こう」及び「みんなで考えようごみ分別スクール」を市内各所で開催しました。



明石クリーンセンター施設見学

3 ごみの安全・安心な適正処理

●不法投棄対策の強化

平成24年5月9日、不法投棄の発見と通報及び防止活動の普及啓発のため、郵便事業株式会社明石支店・明石西支店（現日本郵便株式会社 明石郵便局・明石西郵便局）と「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を締結しました。この締結に基づき、日本郵便株式会社の従業員が、業務中に発見した不法投棄の通報を行うとともに、業務用車両に「不法投棄パトロール隊」ステッカーを貼付し、不法投棄監視のアピールを行っています。



不法投棄パトロール隊

●搬入物検査や指導

本市施設では分別状況の調査や処理困難物の搬入を防止するため、適宜、搬入物検査や分別状況の調査を行い、不備があった場合は指導や不適物の持ち帰りを指示しています。

平成24年度については、合計2,288件（内訳：目視検査1,921件、展開検査367件）の搬入検査を実施し、不備のあった7件については持ち帰りを指示しました。



搬入物検査の実施状況

●ごみ処理事業における行政サービスの向上

現在、市民の多様な要望に対応するため、粗大ごみの戸別有料収集や高齢者および障害者の方を対象とした「要援護者ごみ戸別収集（ふれあい収集）」を実施しています。



要援護者ごみ戸別収集（ふれあい収集）

課題と今後の方向性

明石市では、循環型社会の実現を目指して取り組みを進めていますが、一般廃棄物処理基本計画の数値目標の達成状況については、家庭系燃やせるごみの1人1日あたり排出量とリサイクル率に課題があります。

そのため、雑がみの啓発キャンペーンに取り組むことで、紙類の資源化を推進していくとともに、一般廃棄物処理基本計画の推進項目に位置づけられている家庭系の指定袋製の早期導入に努めていきます。また、平成24年11月より事前調査を行っている、小型家電リサイクルの本格回収を進めていきます。

6 安全・安心社会の実現に向けた取り組み

地域環境を調査・測定し、環境保全に努める

●環境監視体制の充実

市内の環境の現況を把握するため、大気、水質、騒音の常時監視を行っています。平成24年度は、微小粒子状物質（PM2.5）の測定機器を1台増設し、監視体制の充実を図りました。

●環境情報の整備・発信

市民・事業者へ地域環境に関する情報を提供するため、市内の環境の調査・測定結果をまとめた「明石市環境の現況」を公表しました。

人の健康や生活環境へのリスクの少ない社会を目指す

●大気環境の保全の充実

- ・大気汚染に係る事業場に対して、関係法令に基づく立入検査を実施しました。（平成24年度：45件）
- ・アスベストの飛散を防止するため、解体現場等へのパトロールを実施しました。
- ・6月の自動車公害防止月間には、トライやるウィークの中学生とともに啓発ティッシュの配布を行うなど、自動車公害防止に関する啓発活動を行いました。



自動車公害防止月間の啓発活動
（トライやるウィークの生徒と合同啓発）

●水環境の保全の充実

- ・水質汚濁に係る工場・事業場に対して、関係法令に基づく立入検査を実施しました。（平成24年度：153件）
- ・水質汚濁防止法の改正に伴い、兵庫県と合同で説明会を開催するとともに、有害物質を貯蔵又は使用する事業場に対し、届出指導を行いました。

●騒音・振動の防止の充実

騒音・振動に係る事業場に対して、関係法令に基づく指導・立入検査を実施しました。（平成24年度：50件）

●有害大気汚染物質の調査

有害大気汚染物質やダイオキシン類の調査を行い、市内の大気環境中の濃度の把握に努めました。（平成24年度：有害大気汚染物質 21種類 1回/月 ダイオキシン類 4回/年）

●公害苦情への迅速な対応

市民が安心して暮らせる生活環境を保全するため、市民からの公害苦情に対して迅速に対応しました。（平成24年度：苦情件数 100件）

課題と今後の方向性

引き続き、工場・事業者等に指導・立入検査を行うとともに市内の環境測定を行い、安全・安心社会の実現に努めていきます。また、市民にとって関心の高い情報を積極的に公開していきます。

7 環境美化への取り組み

環境月間行事

明石市では、“美しく住みがいのあるまち”の実現に向けた啓発として、6月1日から6月30日を「クリーンアップ明石」環境月間、10月1日から31日を「アイ・ラブ・あかし」秋の環境月間として設定し、啓発看板の掲示や駅前街頭キャンペーンの実施などのほか、多くの市民・事業者の参加を得て、市内一円で屋外一斉清掃、駅周辺の清掃等を展開しています。

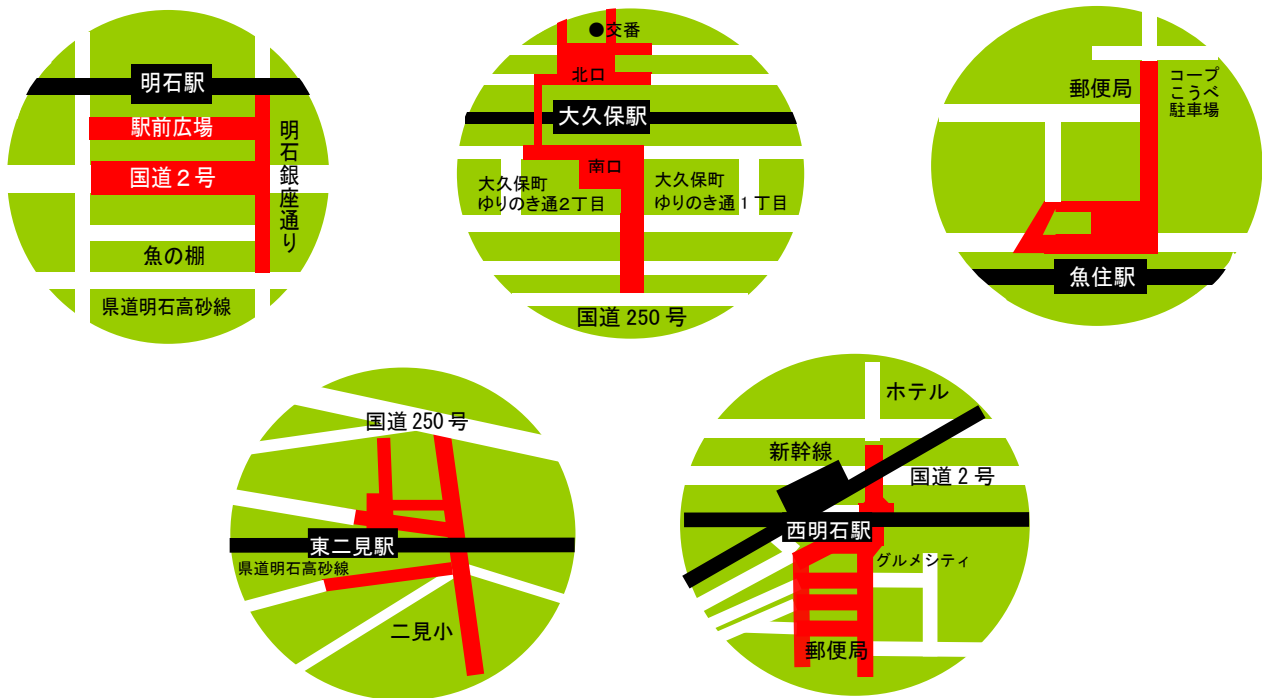


ポイ捨て・ふん害の防止

明石市では、平成11年6月に「明石市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例」を制定し、ポイ捨て・ふん害の防止に取り組んでいます。また、JR明石、西明石、大久保、魚住、山陽電鉄東二見の各駅周辺の5か所を散乱防止重点区域に指定しています。

条例では、散乱防止重点区域内での空き缶やたばこの吸い殻等のポイ捨てや、飼い犬のふんの放置に対して罰則を設けています。

【散乱防止重点区域（■の5区域）：平成25年3月現在】



【重点5区域を1か月間に2日調査した1日平均の散乱ごみの状況】

項目 年度	空き缶	空きびん	ペット ボトル	たばこの 吸い殻	たばこの 空き箱	プラスチック製 容器	紙製容器
22	35	8	13	1,190	27	11	15
23	60	14	38	1,178	5	2	3
24	67	15	52	1,034	34	18	27

ポイ捨て・ふん害防止キャンペーンの実施

J R明石駅前保健衛生推進協議会や女性団体協議会、あかねが丘学園、自治会等の地元ボランティアの協力のもと、啓発資材を配布するなど、市民への啓発活動を実施しています。

ポイ捨て・ふん害防止看板の配布（原則自治会単位）

【看板配布枚数】

年度	種類	ふん害防止	ポイ捨て防止
21		273枚	58枚
22		263枚	82枚
23		317枚	78枚
24		376枚	142枚



きらりん明石 ポイ捨てバッテン運動の展開

ポイ捨て防止の啓発活動をより一層強化し、ポイ捨てごみのない美しい明石のまちを実現するため、散乱防止重点区域である明石駅をモデル地区とし、「きらりん明石 ポイ捨てバッテン運動」を展開、活動内容として、地域住民や各種団体と協働した清掃活動の実施や駅前ポイ捨て防止パトロールを行っています。



明石市アダプトプログラム

アダプト (ADOPT) とは、英語で「養子縁組」を言い、市民や事業者が、地域の共有財産である道路・広場・公園などの公共施設の里親となり、自らの活動と責任で清掃・美化・緑化などを行う協働まちづくりの制度であり、平成22年9月1日よりスタートしました。環境部では「駅前（ポイ捨て防止重点地区）アダプト」を担当しています。

アダプトの登録団体数

登録件数	(内訳)	
	市民等	企業等
21	19	2

【平成25年3月現在】

課題と今後の方向性

ごみの散乱防止重点区域でのポイ捨てや、飼い犬のふんの放置防止について、特に力を入れて取り組んできましたが、依然として、たばこのポイ捨てなどのマナー違反が見られる地区があります。今後もさらに環境美化・衛生意識の高揚、啓発に取り組み、市民の快適な生活環境の確保に努めていきます。

また、明石駅前周辺のたばこのポイ捨てにつながる路上喫煙に対して、「きらりん明石 ポイ捨てバッテン運動」の強化を図りながら分煙などの啓発運動を検討していきます。

8 エコウイングあかしの取り組み

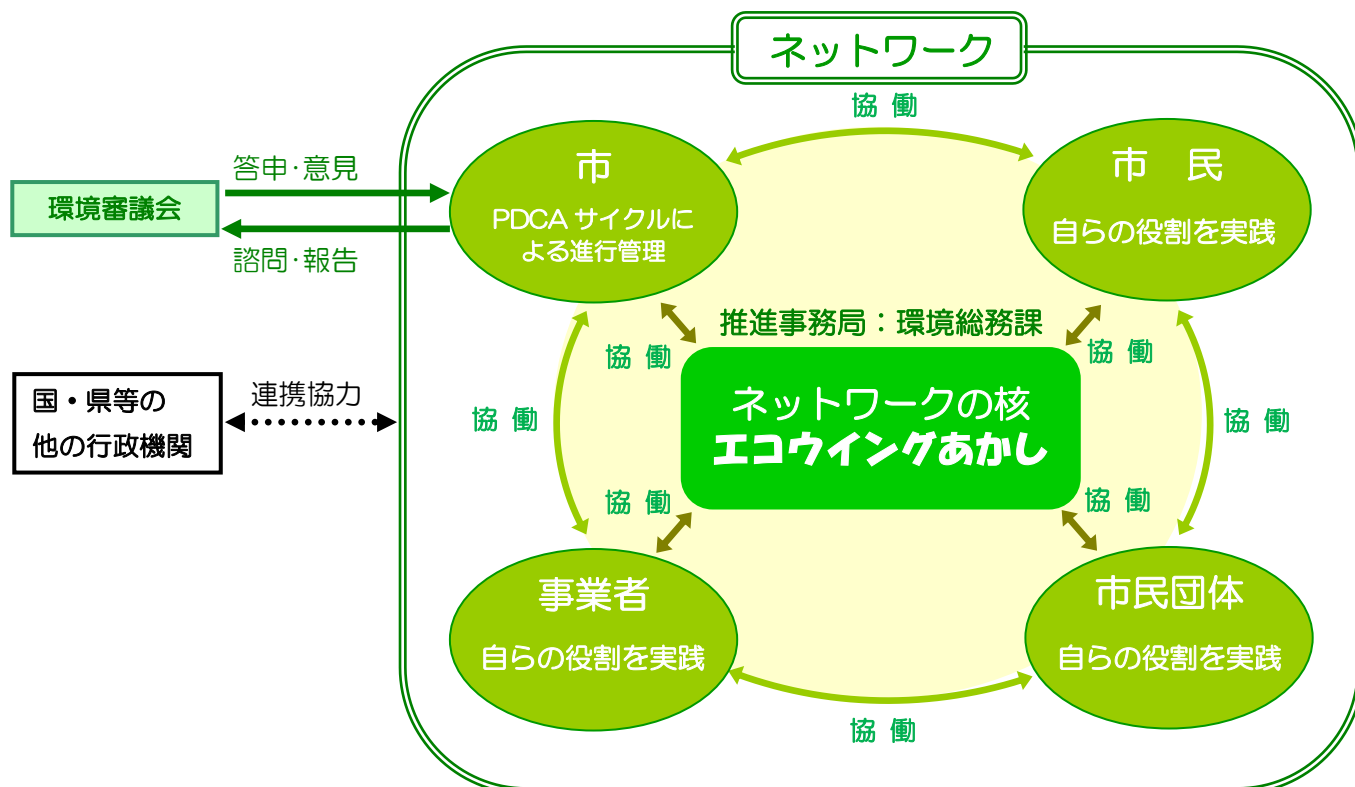
～ エコウイングあかしとは ～



エコウイングあかしとは、明石市環境基本計画を市民・事業者・行政が協働で実行・推進するために創られた団体で、正式名称を「明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会」といいます。

明石市のパートナーシップ組織としてネットワークの中心的役割を担い、明石市環境基本計画に基づく各個別計画の施策を推進しながら、明石市のめざす環境像の実現に向け、取り組みを展開しています。

計画の推進には、市民・市民団体・事業者・行政など、それぞれが責務を自覚し、互いに手を取り合い、取り組みを推進していく必要があります。現在、様々な団体と交流を深めながら協力体制を取り、取り組みを実施していますが、今後さらに多くの団体との交流を図り、参画と協働の発展に努めていきます。



～エコウイングあかしの活動方針～

エコウイングあかしでは、平成24年度の活動方針を以下のように定め、全体活動及び各グループの活動を実施しました。

「エコウイングあかし 平成24年度の活動方針」

- ◆市民や事業者にも分かりやすく、参加しやすい組織作りを目指す。
- ◆参画と協働の体制や仕組みを再構築し、ネットワークを広げ事業を活性化する。
- ◆環境学習などの提供により、次世代人材育成や新規参加者確保に努め継続的発展をめざす。
- ◆この活動を通じて、新しいエコライフスタイルを提案し「まちづくり、ひとづくり」に貢献する。

全体活動

①連絡会、拡大連絡会などの開催

様々な団体や事業所、市の関連課と情報共有と連携を図り、ネットワークを拡大する

②広報活動の強化

HPの見直しと定期的会報を会員だけでなく、広く市民にアピールする

イベントへの参加（6/9～10 イオン環境イベント、11/3 環境&消費者フェアなど）

③環境学習、市民学習会への積極的な関わり

④市民、行政関係者参加でワークショップを開催

持続可能な「エコウイングあかし」の体制、仕組み作り、事業計画をまとめる

エネルギーグループ

◇省エネルギー・低炭素社会に向けての啓発

- エコドライブ事業の推進
- 家庭でできる温暖化防止対策として、チーム「ゆほびか」の活動継続
- 太陽光発電の啓発
- ネットワークの核として、明石市民活動団体とともに低炭素社会実現のための活動

ライフスタイルグループ

◇省資源・循環型ライフスタイルの啓発

- 他団体と協働した事業展開、イベント等への参加
- 段ボールコンポスト、エコバッグづくり、リサイクルおもちゃづくり等を利用したエコ啓発

自然グループ

◇自然共生社会に向けての行動

- 他市民団体、県、市関連課、事業所、学校と一層の連携強化を図る交流会や交換会の実施
- 拠点での整備保全活動
竹林、雑木林の整備、散策路・池のピオトープづくり、各種イベントの提供
- ため池、川での生物調査、外来種調査及び捕獲事業への参加協力
- 海（藤江～明石川）での生きもの調査
- 環境学習の継続的サポート 谷八木小、高丘東小、高丘西小

エコウイングあかし全体に関する平成 24 年度の取り組み

●第 5 回 エコウイングあかし総会（平成 24 年 5 月 19 日）



会員数 63 名（総会時点）のうち 44 名（委任状の提出含む）が出席し、平成 23 年度の活動及び決算報告、また、平成 24 年度の活動計画及び予算について承認しました。



●イオン明石環境イベントへの出展（平成 24 年 6 月 9 日・平成 25 年 3 月 2 日）

イオン明石ショッピングセンターで開催された「イオン環境フェア」に、市環境部とともにブースを出展し、省資源・省エネルギー・自然共生・環境学習等について各グループが啓発活動を実施しました。

《第 1 回 平成 24 年 6 月 9 日の風景》



賑わうエコウイングあかしブース



環境紙芝居「海と空の約束」

《第 2 回 平成 25 年 3 月 2 日の風景》



環境分別クイズ



エコドライブシミュレーター



エコバッグづくり

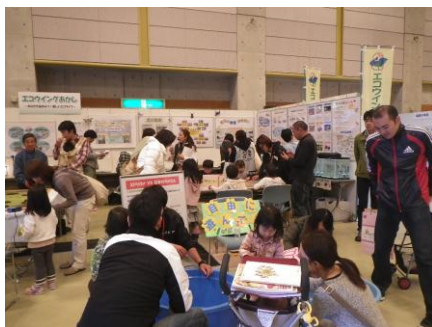
●2012 環境&消費者フェア in あかしへの出展（平成 24 年 11 月 3 日）

市環境部主催の「2012 環境&消費者フェア in あかし」へ、協働団体や明石商業高等学校の協力を得てブースを出展し、省資源・省エネルギー・自然共生について各グループが啓発活動を実施しました。

また、環境学習推進に関する取り組みとして、環境クイズ大会やエコ工作教室を開催しました。



リサイクルおもちゃづくり



水辺(ため池)の生きもの展示コーナー



子どもパズルコーナー



環境クイズ



エコバッグづくり教室



ソーラーカーづくり教室



布ぞうりづくり教室

●京都環境教育ミーティングへの参加（平成 25 年 3 月 2 日）

環境活動を盛んに行っている京都の団体から、「これからの環境教育」や「地域とのつながり」について学び、エコウイングあかしの今後の活動に役立てるため、龍谷大学深草キャンパスで開催された「第 9 回 京都環境教育ミーティング」へ参加しました。



エコウイングあかし 各グループでの活動

☆ ライフスタイル

- グリーンカーテン設置（6月～）

◇市立図書館 2F テラスほか



（6月）



（7月）



（8月）

エコウイングあかし
ホームページに掲載



- 「市立図書館 ふれあいエコイベント」への参加（11月11日）

◇※段ボールコンポストの配付、パネル展示

※段ボールコンポストをもっと詳しく知りたい方へ

明石市資源循環課ホームページ「ごみとリサイクル」内「生ごみ減量化大作戦」のコーナーでは、段ボールコンポストを利用した“生ごみのたい肥化”の詳しい取り組み方法を紹介しています。

(URL) http://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/gomitai_ka/gomi/b-recycle/b-12.html



☆ エネルギー

- チーム「ゆほびか」・環境家計簿作成・データ集計

（「ゆほびか通信」VOL. 12, 13, 14 を発行）

- エコドライブの推進

◇平成 23 年度エコドライブ活動実践推進による二酸化炭素排出削減事業
報告会、ひょうご環境創造協会との意見交換（6月4日）

◇平成 24 年度ひょうごエコドライブ推進コンソーシアムへの参加

（エコドライブ活動実践推進による二酸化炭素排出削減事業）

- ・総会（6月13日、1月30日、3月11日）
- ・参加者への事業説明会（8月19日）
- ・計測期間（8月19日～12月31日）
- ・エコドライブ講習会（9月22日）



エコドライブ講習会（座学）



エコドライブ講習会（実車）



エコドライブ講習会（結果公表）

・電気自動車によるエコドライブツーリング（10月27日）

4台の電気自動車
に分乗し出発



淡路島へ向けて運転



明石大橋をバックに記念撮影



充電スタンドで充電

・ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS) 見学会
(11月23日)

◇「地域のNPOによる温室効果ガス削減活動支援事業」の全国会議
に参加（2月17日）：東京ビッグサイト



HEMS見学会

☆ 自然

● 里山整備

◇金ヶ崎公園の整備（竹林・散策路・水辺等）を年間10回
実施（延べ113名参加）。また、ライオン株式会社明石工場と協
働で里山整備活動を実施（10月6日）

◇金ヶ崎公園の植生調査を実施



里山整備



協働による里山整備



散策路整備

● 環境体験事業等のサポート

◇谷八木小学校

・アマモを中心とした海の生態系学習や、校区内の自然環境学習（計8回）



谷八木海岸での生きもの観察



学校でのアマモ種付け

◇松陰保育所

- ・金ヶ崎公園での自然体験事業（計4回）

◇高丘東・高丘西小学校

- ・地域のため池の役割、生息する生物等の自然環境学習（各3回）
- ・かいぼり（合同で1回）

◇江井島中学校

- ・ため池観察会（1回）

◇魚住東中学校

- ・金ヶ崎公園でのトライやるウィーク（6月4日～8日）



松陰保育所自然体験事業

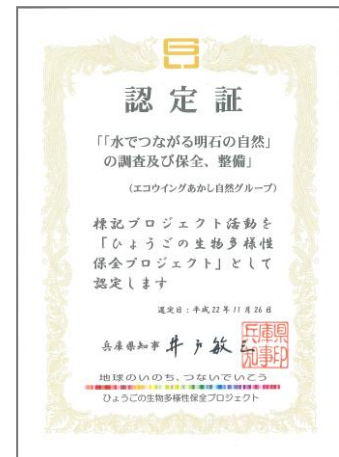
- 日本野鳥の会主催の探鳥会に参加（4月28日・金ヶ崎公園）

- 海岸線観察調査を実施（6月3日・藤江浜～明石川河口）

- 「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト団体」に明石市で唯一認定（兵庫県内で57団体認定）

- 「ひょうごの生物多様性プロジェクト団体発表会」に参加し、活動パネルを展示（8月22日・兵庫県民会館）

- 生物多様性地域連携促進セミナーin兵庫」にて活動パネルを展示（2月9日・兵庫県立人と自然の博物館）



ひょうごの生物多様性保全プロジェクト団体認定証

専用ホームページの運営

エコウイングあかしでは、「省資源・省エネルギー」「自然共生」「環境学習」などに関する取り組みを広く情報発信するため、専用ホームページを開設しています。また、発行している冊子のダウンロードも可能です。

エコウイングあかし クリック!

エコウイングあかしホームページ
(URL) <http://www.ecowing.net/index.html>



エコウイングあかしホームページ

9 明石市環境マネジメントシステムの取り組み

明石市環境マネジメントシステムとは

環境マネジメントシステムは、企業や地方公共団体等が積極的に環境保全行動に取り組み、自主的・継続的に改善する仕組みです。

明石市では、環境基本計画の進捗管理と環境の継続的な改善のために、平成 12 年度から「環境マネジメントシステム」を導入し、国際規格 ISO 14001 の認証を平成 13 年 3 月に取得しました。その後、環境配慮に対する意識が職員に浸透したことから、規格との適合性を自ら判断する「自己宣言」方式へと平成 19 年 3 月に移行し、これまで環境施策の推進や省エネの促進、エコオフィス活動に取り組んできました。

環境マネジメントシステムの見直し

自己宣言方式への移行後、規格との適合性を保ちながら取り組みを実施してきましたが、第 2 次明石市環境基本計画をはじめ、環境に関する各個別計画がそれぞれ策定されたことから、今後これらの計画の進捗管理に重点を置き、一歩先を見据えた環境行政を推進するため、環境マネジメントシステムの抜本的な見直しを行います。

新たな環境マネジメントシステムの運用は平成 25 年度より行うこととし、規格に捉われない実効性のある「明石市独自」の環境マネジメントシステムへと見直しを行います。

明石市環境マネジメントシステムの適用範囲

明石市役所本庁舎と市関連施設の事務・事業活動が適用範囲です。

●システムを運用するしくみ（P D C A サイクル）

- ① P L A N : 環境保全のための方針を立て目標を設定し、具体的な行動計画を立てる
- ② D O : 行動計画を実施する
- ③ C H E C K : 行動計画が適切に運用されているか実施状況や成果を点検する
- ④ A C T I O N : 点検結果を参考にシステムを見直し、改善する

①～④の繰り返し(=P D C A サイクル)により、継続的なシステムの改善を図ります。



自治体間相互環境監査の取り組み

環境マネジメントシステムの向上を図るため、阪神播磨地域の自治体間で相互環境監査システムを構築し、監査の際には互いに監査員の派遣及び受け入れを行っています。

平成 19 年度の会議体発足当初の参加自治体数は 5 市でしたが、平成 22 年度には姫路市が参加を、平成 23 年度からは芦屋市が参加し 7 市体制となり（姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、

伊丹市、宝塚市 ※行政順に記載)、締結した「環境マネジメントシステムに係る自治体間相互環境監査に関する覚書」に基づき相互監査を実施しています。

また、平成 24 年度には加西市がオブザーバー市として加わり、相互監査システムのつながりがさらに広がりつつあります。

平成 24 年度の明石市内部環境監査には伊丹市と宝塚市の職員が参加し、明石市の職員は姫路市と伊丹市の監査に参加しました。

庁内での環境施策推進の取り組み

第 2 次明石市環境基本計画及び、個別計画である「ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン」、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」、「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」を推進するため、環境に貢献できる各課の施策を「施策編」、省エネ促進のための行動を「エコ活動編」として、各課で環境目標・行動計画の設定を行い、目標達成に向けた環境行動に取り組みました。

「施策編」

各課の業務（施策）の中で環境貢献できるものについて、目標を設定する環境改善の取り組み

「エコ活動編」

コピー用紙・ガソリン・電気・都市ガスなどの資源使用量とエネルギー使用量について、省エネルギーを促進するための日々の行動を各課で目標設定し活動する取り組み

環境貢献（施策編）

各課が行う業務（施策）の中から環境に貢献できるものを抽出し、目標設定を行いました。平成 24 年度は各課から 125 項目の目標設定があり、達成度の内訳は下記のとおりです。

◆環境貢献（施策編） 平成 24 年度の達成状況：125 項目

目標達成度	項目数	全体に占める割合
A：達成度 80%以上	73	58.4%
B：達成度 50%以上 80%未満	38	30.4%
C：達成度 50%未満	12	9.6%
D：未実施	2	1.6%

次ページに市民に展開した事例を記載しています。また、P. 27～28 に、各部「施策編」の主な取り組みについて事業評価表を掲載しています。

●市民・健康部 健康推進課

健康推進課では、家庭における食育推進のきっかけづくりとして、幼稚園や保育所でパンフレットを活用した食育の講話や、実際にご飯を炊いて食べる体験教室を実施しました。



体験教室の様子

子どもたちにとって、地元の畑でとれる野菜や海でとれる魚などに興味を持つ機会となり、地産地消の普及につながりました。



●土木交通部 交通政策課

交通政策課では、明石市総合交通計画に基づき、公共交通の利便性向上及び利用促進の取り組みを進めています。特に、コミュニティバス（たこバス）の運行にあたっては、利便性向上を図るための運行内容の見直しや、あかしエコファミリー制度の導入・スタンプラリー等の利用促進の実施により、利用者の増加を図りました。また、過度に『クルマ』に頼る状態から、自発的な公共交通利用を促すため、路線バス沿線の住民を対象に公共交通の利用促進の取り組みを進めました。

その結果、コミュニティバス（たこバス）の年間利用者数が平成23年度の約92万人から平成24年度は約97万人となり、約5万人の増加となりました。また、大久保北部地区で実施した公共交通の利用促進の取り組みでは、車等からの転換による路線バスの利用促進を図り、年間約30tのCO₂排出量を削減しました。



JR大久保駅南バス停



コミュニティバス（たこバス）



JR大久保駅南ロータリー

環境貢献（エコ活動編）

エコ活動編では、省エネを促進するための日々の行動について、各課で目標設定を行いました。平成 24 年度は各課から 109 項目の目標設定があり、達成度の内訳は下記のとおりです。

また、市役所の事務活動で発生する「コピー用紙」、「ガソリン」、「電気」、「都市ガス」の使用量について、平成 24 年度の使用実績を下記に記載しています。

◆環境貢献（エコ活動編） 平成 24 年度の達成状況：109 項目

目標達成度	項目数	全体に占める割合
A：達成度 80%以上	67	61.5%
B：達成度 50%以上 80%未満	23	21.1%
C：達成度 50%未満	18	16.5%
D：未実施	1	0.9%

P. 29 に、各部「エコ活動編」の主な取り組みについて事業評価表を掲載しています。

◆平成 24 年度の使用実績（市役所全施設）

項目	平成 24 年度実績	平成 23 年度実績	平成 22 年度実績
コピー用紙 (A4 換算)	22,940,500 枚	23,248,750 枚	18,772,559 枚
ガソリン	186,613 L	189,058 L	182,621 L
電気	77,244,920 kWh	81,469,960 kWh	87,602,330 kWh
都市ガス	1,580,197 m ³	1,913,493 m ³	2,140,036 m ³

平成 24 年度の各項目の使用実績については、「コピー用紙：前年度比 98.7%」、「ガソリン：前年度比 98.7%」、「電気：前年度比 94.8%」、「都市ガス：前年度比 82.6%」となっており、すべての項目において省エネ活動の成果が表れ、使用実績が減少しました。特に都市ガスについては、17.4%減と大幅に減少しています。

今後においても、省エネ活動の取り組みをより推進し、事務活動の省資源・省エネルギー化を図っていきます。

明石市内部環境監査

内部環境監査は、明石市環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを評価するために実施しており、市役所職員と自治体間相互環境監査システムにより派遣される他自治体職員が監査員を務めています。

内部環境監査の結果は、内部環境監査結果報告書として、環境管理総括者（市長）に報告され、マネジメントシステムの見直しに活用されます。また、監査で指摘事項や提案事項があった項目は、修正・改善し、今後の環境目標設定等に反映されるとともに、模範となる点については参考事例として市役所内に広く周知しています。

平成24年度については、環境マネジメントシステムの見直しの一環として、新たな監査方法を試行するため環境部を対象に監査を行い、問題点を整理し、平成25年度からの独自システム運用に向けマニュアル等の文書類の整備を行いました。



環境マネジメントシステムに関する資料の入手方法

明石市環境方針及び環境マネジメントシステム運用マニュアルについては、明石市環境部環境総務課ホームページ（EMS コーナー）よりダウンロードしていただけます。

http://www2.city.akashi.lg.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/iso/index.htm



明石市WEBサイトへ

EMS (環境マネジメントシステム)

HOME
環境部概要
環境基本計画
EMS
パートナーシップ
温暖化対策
年次報告書
自然
環境審議会
活動トピックス

明石市では平成13年にISO14001の認証を取得し、平成19年から、自らの責任において判断する「自己宣言」によるシステム運用を行ってきました。平成25年度からは、第2次明石市環境基本計画及び環境に関する3つの個別計画（低炭素社会・自然共生社会・循環型社会）をより推進するため、進捗管理を重点的に行う、独自システムを運用しています。

[○環境方針](#)

[○明石市環境マネジメントシステム運用マニュアル](#)

サイトマップ ダウンロード このサイトについて 問い合わせ リンク

copyright / Akashi Kankyo Somuka

10 平成24（2012）年度の事業評価

平成24年度に実施した、各部署の主な環境貢献関連施策の内容と評価を以下に記載しています。各課の取り組みについては、環境部ホームページよりご覧いただけます。

●環境貢献（施策編）環境基本計画に定める取り組み

※達成状況 A: 達成度80%以上 B: 達成度50%以上80%未満 C: 達成度50%未満 D: 未実施

部	取り組み名称	平成24年度の環境目標	平成24年度の実施計画	達成度
総務部	能力開発支援事業	新規採用職員研修での環境問題に関するプログラムの実施	【新規採用職員研修ステップ3】市の地球環境問題等への取り組みについて、内部講師による研修を実施し、職員の環境問題に対する意識を高める	A
財務部	公共施設への省エネ・省CO2設備導入促進	機器更新時の省エネ型機器への切り替えの推進	・照明器具更新時にLED照明器具を導入する ・熱源改修時に高効率機器を導入する	C
コミュニティ推進部	自発的な活動の支援	明石市民実践活動助成を通して市民活動団体の活動内容をより充実させる	・活動経費の助成（1グループ上限100千円） ・助成事業の審査、グループの視察 ・交流会、成果報告会の開催	B
市民・健康部	食育推進事業の実施	家庭における食育の推進	・幼稚園、保育所にてご飯を炊いて食べる体験教室を実施 ・家庭での食育の取り組みのパンフレットを作成し、各関係課に配布 ・各幼稚園・保育所等にて、パンフレットを活用した食育の講話	A
文化・スポーツ部	地産地消の推進	地産地消をテーマにした料理教室の開催	地元でとれる旬の食材を使用した料理教室の開催	A
こども未来部	子育て支援等市民の取り組み支援の促進	訪問世帯への環境パンフレット配布 セーター内掲示板へのエコ情報掲載など	・こんにちは赤ちゃん事業の訪問世帯へ、環境パンフレット配布（約2,700人） ・子育て支援センターの情報誌にエコ情報を記載 ・センター内掲示板にエコ情報掲載	A
環境部	地球温暖化対策実行計画・生物多様性あかし戦略の推進（地球環境対策推進事業）	計画及び戦略を周知するための講演会、出前講座を開催する（年5回以上）	・地球温暖化対策実行計画、生物多様性戦略の講演会及び出前講座の開催 ・庁内の取り組みについて目標値を設定	B
	壁面緑化（グリーンカーテン）の普及促進	・市庁舎等にグリーンカーテンを設置 ・市民にグリーンカーテン園芸講習会の実施 ・グリーンカーテンコンクールの実施	・公共施設への設置業者を選定し、グリーンカーテン設置 ・グリーンカーテン園芸講習会の実施 ・グリーンカーテン市内コンクールの実施、結果公表 ・事業所の緑化推進を検討	A
	再生可能エネルギーの導入促進	住宅用太陽光発電設備の設置補助	・住宅用太陽光発電設備の設置補助（上期・下期）実施 ・再生可能エネルギーの導入促進を検討 ・市民への広報、周知	A
	廃棄物の循環利用	再生資源集団回収量増に向けて未回収活動地域への働きかけを行い、回収活動団体の増を目指す	・活動団体の研修会（6月） ・助成金申請、交付（年2回） ・未回収活動地域の自治会、高年クラブ、子ども会等へ説明会を実施	B
	再生家具展示会の開催（ごみ減量化推進事業）	実施回数6回（120点～150点配付）維持	リサイクル家具入替（5月、7月、9月、11月、1月、3月）	A

●環境貢献（施策編）環境基本計画に定める取り組み

※達成状況 A: 達成度80%以上 B: 達成度50%以上80%未満 C: 達成度50%未満 D: 未実施

部	取り組み名称	平成24年度の環境目標	平成24年度の実施計画	達成度
環境部	明石市一般廃棄物処理基本計画の推進	みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン（明石市一般廃棄物処理基本計画）の進捗管理	資源循環推進審議会の開催（8月、2月に予定）	A
	ごみ発電の高効率発電の継続	タービン発電機の蒸気利用における高効率発電の維持（発生蒸気の発電利用率80%）	タービン発電機の蒸気利用における高効率運転の協力依頼と発電利用率の監視	A
産業振興部	里と海の協働による（豊かな海の再生）	里（農業者）と海（漁業者）の協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな海の再生」検討会、シンポジウムの開催 ため池クリーンキャンペーンの実施 かいぼり（池干し）の実施 かいぼり（池干し）による栄養分の海への放流 	A
土木交通部	明石市総合交通計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス（たこバス）の利便性向上、利用促進 路線バスの利便性向上、利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス（たこバス）の運行内容見直し、あかしエコファミリー制度の継続 路線バスの利便性向上、利用促進に向けたモビリティマネジメント（MM）の実施 	A
	環境にやさしいみちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞個所の対策や踏切道の改良により、自動車交通の円滑化を図りCO₂を削減する 徒歩や自転車移動しやすい環境を整え、マイカーの利用を抑制することでCO₂の削減を図る 雨水浸透により地下水の涵養を図るとともに、植樹などと併せ、ヒートアイランド現象を抑制する 	<ul style="list-style-type: none"> 踏切改良2箇所 踏切除去（連立）9箇所 道路空間の再配分、路肩のカラー舗装化、歩行者支援施設の整備 歩道の透水舗装や適切な植栽 	A
都市整備部	緑の基本計画の推進	緑の基本計画の達成状況の把握、推進	市民及び庁内の緑化意識の向上を図る	A
	緑化推進事業	家庭等で不要となった樹木のリサイクル（平成24年度 150本）	家庭等で不要となった樹木を無償で引き取り、公園や緑地の公共緑化に活用する	B
下水道部	雨水貯留タンク設置助成事業	水資源の有効活用と良好な水環境型社会の創出、環境に対する市民の意識高揚を図る（H24年度 設置助成100件）	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙、ホームページへの掲載 助成対象者の募集、決定 助成に係る申請手続、交付手続等 	A
水道部	原浄水施設整備事業（配水施設整備事業）	浄水場等の使用電力量を前年度比1%削減する	<ul style="list-style-type: none"> 高効率機器の導入、適正な危機配置 効率的な運転 創エネルギーに関する基本検討 	A
教育委員会事務局	みんなで学校園を美しくする運動事業	快適な教育環境の整備	各学校で保護者や地域の方々との協力の下、施設の改善を自ら行う	A
	環境体験事業（小学校3年生で実施）	本年度全校実施 環境担当者会を中心にしながら、情報交換を行い、各校の特色ある活動の推進と充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> 各校の実態に合わせた実施計画の作成 環境担当者会等での情報交換 環境体験事業の実施 取組の交流と次年度に向けての情報交換 	A
消防本部	消防団施設整備事業	低燃費・低公害車両の導入促進	本年度は、消防団の小型動力ポンプ付き消防自動車の更新を予定しており、更新する際には、低燃費・低公害車両の導入を促進する	A

※各課の取り組みについては、環境部ホームページ「環境レポート」のコーナーに掲載しています。

●環境貢献 エコ活動編の主な取り組み

平成24年度に実施した主なエコ活動の内容、実施部局及び評価を以下に記載しています。

取り組み名称	取り組み内容	実施部局	目標達成度	
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要な照明、OA機器の電源オフ エレベーターの使用を控え、2up3downは階段を利用する 冷暖房温度の適正設定 など	総合安全対策局、政策部、総務部、財務部、コミュニティ推進部、市民・健康部、文化・スポーツ部、福祉部、子ども未来部、環境部、産業振興部、土木交通部、都市整備部、下水道部、会計室、教育委員会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、消防本部	A 達成度80%以上	36項目
			B 達成度50%以上80%未満	12項目
			C 達成度50%未満	7項目
			D 未実施	1項目
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの励行 公用車の相乗り促進 公共交通機関の及び公用自転車の利用促進 など	総合安全対策局、財務部、コミュニティ推進部、市民・健康部、文化・スポーツ部、福祉部、子ども未来部、環境部、産業振興部、土木交通部、都市整備部、下水道部、水道部、教育委員会事務局、消防本部	A 達成度80%以上	19項目
			B 達成度50%以上80%未満	7項目
			C 達成度50%未満	13項目
			D 未実施	
コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 両面コピーの推進 裏紙利用の徹底 メールや掲示板の利用によるペーパーレス化 など	財務部、産業振興部、都市整備部、水道部、教育委員会事務局、消防本部	A 達成度80%以上	9項目
			B 達成度50%以上80%未満	1項目
			C 達成度50%未満	1項目
			D 未実施	

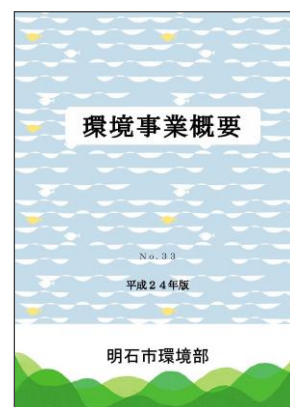
※各課の取り組みについては、環境部ホームページ「環境レポート」のコーナーに掲載しています。

1 1 主な関連資料

主な関連資料の一覧

●環境事業概要

昭和 55 年から発行している事業概要書で、明石市の環境行政に関する組織、事業、予算、計画、環境美化整備、環境保全対策、し尿、ごみの減量化・資源化及びごみの収集・処理などの各種統計を掲載しています。



●第 2 次明石市環境基本計画

「第 2 次明石環境基本計画」は、平成 19 年 3 月に策定された明石市環境基本計画改定版の見直しを行い、平成 24 年 1 月に策定したもので、長期総合計画と連携して明石市の望ましい環境像の実現をめざすための基本の方針をまとめたものです。環境基本条例に基づき、明石市の特性を考慮した環境全般の取り組みの基本になる考え方、めざす環境像、取り組みの内容を示しています。



●ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン

これまでの「地球温暖化対策実行計画（平成 19 年 3 月改定）」では、明石市が市の事務事業を実施する上で排出する温室効果ガスの削減についての計画でしたが、平成 22 年度に策定した「ストップ温暖化！低炭素社会のまち あかしプラン」では、市の業務だけでなく、市民・事業者も含めた市内全域から排出される温室効果ガスを削減するための数値目標と、具体的な取り組みを示しています。



●つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略

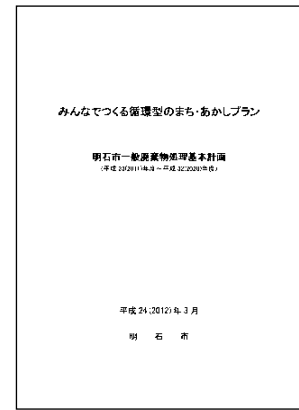
平成 22 年度に策定した「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」は、私たち人間が生きるために必要な自然の恵みを大切にすること、すなわち、自然環境や多様な生きものによる生物の多様性を保全し、自然と共生していくために必要な取り組みと方針を定めています。



●みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン

平成24年3月に策定した「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン（明石市一般廃棄物処理基本計画）」は、ごみ処理における最終的な目標は「循環型社会の実現」にあるとの基本理念に立ち、数値目標と具体的な取り組みを示しています。

この計画に基づいて、3R（リデュース〔発生抑制〕、リユース〔再利用〕、リサイクル〔再生利用〕）を中心とするごみの減量・資源化の取り組みを推進し、環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかしをめざします。



主な関連資料の入手方法

紹介している資料（計画書等）は、下記Webサイトよりダウンロードしていただけます。また、印刷物でお渡しすることも可能ですので、環境総務課にご連絡ください。

明石市環境部環境総務課・環境保全課Webサイト「ECOIST（エコイスト）」

(URL) http://www2.city.akashi.lg.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/index.html

明石市環境総務課

検索

← クリック！



ECOIST トップページ



環境レポート関連ページ

※この報告書に掲載していない情報についても、ホームページで公開しています。

『明石市環境レポート2013ー平成24年度 年次報告書』に対するご意見

- ① レポートの内容など
- ② レポートの編集やレイアウトなど
- ③ レポート全体など

について、ご意見・ご感想・ご提案をお寄せください。

- 郵送、FAX の場合、添付のアンケート用紙をご利用ください。
- E-mail の場合、環境総務課 Web サイト「ECOIST（エコイスト）」からアンケート用紙をダウンロードし、記入の上メールでお送りください。

いただいたご意見などは、次年度発行する「明石市環境レポート 2014」への反映、明石市の環境への取り組みの参考とするなど、今後のよりよい明石市の環境行政へとつなげていきます。

《お問合せ・送付先》

明石市 環境部 環境総務課（計画係）

〒674-0053 明石市大久保町松陰 1131（明石クリーンセンター内）

電 話・・・078-918-5029

FAX・・・078-918-5107

メール・・・plan-ems@city.akashi.lg.jp

